

する薬剤である DPP-4 阻害剤が 2009 年から使用可能となりましたが、結果、単独使用ではほぼ低血糖もなく、副作用も少ないため、現在、日本では経口血糖降下薬の第 1 選択薬として使用されるまでに至ったわけです。

ところで毎年恒例の 11 月第 2 週は世界糖尿病週間、11 月 14 日は世界糖尿病 Day（下図①）として、糖尿病の社会啓蒙の一環を兼ね、全世界各地でブルーライトアップが施行されます。栃木県においては足利学校がブルーライトアップされました（下図②）。同時に開催された IDF（国際糖尿病連合）の報告では、世界の糖尿病人口は昨年より 1 億 1 千万人増の 3 億 8200 万人にまで急増し、2035 年には 55% 増加の 6 億人弱にせまる勢いにあります。ますます糖尿病の対策が日本だけではなく、全世界をあげて急務になると言わざる負えないわけでありませう。



問題 2 循環器内科

心タンポナーデについて正しいのはどれか。

- a 心室が圧迫され収縮障害をきたす。
- b 呼気時に頸静脈怒張が著明になる。
- c 電氣的交互脈があれば重症である。
- d 呼吸困難、頻脈、血圧上昇をきたす。
- e 心膜穿刺は腹臥位で剣状突起下から行う。

正解： c

解説：

- a 心臓が圧迫され拡張障害をきたす。
- b 吸気時に外頸静脈怒張が著明になる（Kussmaul 徴候）。
- c 正解。
- d 呼吸困難、頻脈、血圧低下をきたす。
- e 心膜穿刺は半座位 30～60 度で剣状突起下から行う

コメント： 近年、抗糖尿病薬は大きく変わってしまいました。インクレチンの問題と解説は非常に勉強になります。心タンポナーデは理屈で覚えましょう。今回の問題は、肺癌とアレルギーの問題です。国試前のチェックの問題として奮って解いてみてください。

今号のセルフトレーニング問題の解答と解説です

問題 1 呼吸器内科

- a.○ 男性および男女合計では悪性腫瘍の中で最も多い。
- b.○ 喫煙、大気汚染などが肺癌の主因となりうる。

